

葛南教育事務所だより



千葉県教育庁葛南教育事務所

〒273-0012 船橋市浜町2-5-1

Tel 047-433-6017 Fax 047-433-3169



「よりよい授業づくりと学校体制づくり」 ～各種学校訪問を通して～

【指導室】

令和6年度は、「合同訪問」54校、「課題別要請訪問」（学力向上・生徒指導・特別支援教育・健康教育）121校の訪問を実施しました。また、初若年層教員や臨時的任用講師を対象に指導主事が1日伴い指導・助言を行う「1日研修」を含め、よりよい授業づくり・学校体制づくりをめざし、各学校のニーズに応じて支援を行いました。引き続き、初若年層教員や講師の研修、いじめの未然防止と早期発見・初期対応の強化、不登校児童生徒及び学校への支援に取り組んでまいります。

以下、当室の重点目標に照らし、取組状況を報告します。



（1）「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

① 「学ぶことが楽しいおもしろい」を実感する「葛南スタイル」の活用

『『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』を基に作成した「葛南スタイル」を授業改善の指標とし、訪問において周知に努めました。今年度の合同訪問では、「葛南スタイル」の思考過程（「見出す」「自分で取り組む」「広げ深める」「まとめる」）を指導案に記載し授業を行う学校が多くみられました。授業の終末場面「まとめる」では、自分の言葉で学習のまとめや振り返りを書く時間を位置付ける授業が増える等、「葛南スタイル」を意図した授業を構成する実践が増えています。

② 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る効果的なICTの活用

教師が作成したワークシートを1人1台端末に転送して個に応じた支援をしたり、個々の考えを集約して全体で共有したりする等、ICTの特性を活かした授業展開が多く実践されていました。今後は、教師が指導のツールとして使用する段階から、学習者自身が使いこなす段階へと移行していくことが期待されます。また、家庭学習推進のためのリーフレットについても、1人1台端末の活用について、保護者への啓発を推進する取組も見られました。

③ 学校の強みを生かし、課題を解決するための全校体制による組織的な取組の推進

「全国学力・学習状況調査」の分析結果から、自校の取組の成果と課題について全教職員で共通理解を図り、授業改善に活かす取組が進んでいます。葛南教育事務所管内では、小・中学校ともに2教科とも全国、県の平均を上回っていますが、質問調査の結果から、教科に対する関心・意欲及び自己有用感が低いことが課題であることがわかっています。教科の結果と質問調査の結果を関連付けて授業改善を図ることが望まれます。

(2) 生徒指導の充実と「安全・安心」な学校体制づくり

①いじめの未然防止・初期対応並びに不登校支援の充実

いじめの未然防止・初期対応については、「いじめ認知シート」「いじめ対応マニュアル」「相談アプリの導入」等、各市が様々な手立てを講じており、積極的認知・早期対応が進んでいます。さらに、管内すべての学校で、「SOSの出し方教育」を年間計画の中に位置付け、年度初めや長期休業明け等、適切な時期に実施されていました。未だ、命に関わる事件・事故が複数多発している状況です。「心の危機に気付く力・相談する力・相談を受ける力」等の予防教育について、さらなる充実が求められ、子供のSOSをキャッチする意識を高めることも喫緊の課題です。

また、今年度も管内不登校児童生徒支援推進校（以下、推進校）42校を訪問し、学校体制としての不登校支援の在り方や、校内教育支援センターの効果的な活用について、各市教育委員会担当者や管理職の先生方をはじめとした教職員の皆様と共通認識を図りました。併せて、推進校の役割として、不登校支援の先進的な取組を、周辺の学校をはじめ、市内へ広げていくことをお願いしました。各学校におかれましては、ぜひ、近隣の推進校における校内教育支援センターの取組はどういったものなのか、実際に話を聞いたり見たりする機会を設けていただき、不登校支援に役立てていただければ幸いです。

②生徒指導の実践上の視点を踏まえた「学級経営」、「授業づくり」の推進・充実

「生徒指導の実践上の視点」を踏まえた授業づくりのためのチェックシートを、合同訪問や要請訪問の際に各学校へ配付したり、研修の中で扱ったりすることで、子供たちの自己肯定感や共感的な人間関係等を育む視点を、先生方に改めて振り返っていただく機会としました。チェックリストの中にある4つの視点は、授業の中だけでなく、学級経営の中でも意識していく必要があります。年間の中で定期的に振り返る機会を設けるとともに、「生徒指導提要」も活用し、先生同士で互いに確認し合う風土を醸成できると、子供たちにとっての「安全・安心」な学校体制にもつながってくると考えます。

「生徒指導の実践上の視点」を踏まえた授業づくりのためのチェックシートは、葛南教育事務所ホームページに、この事務所だよりと共に掲載します。併せてご確認ください。

③児童生徒の課題解決に向けた「学校・家庭・地域・関係機関」の連携強化

スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）、スクールロイヤー（SL）、スクールサポーター（SS）、訪問相談担当教員等の認知・理解がさらに進み、困難なケースへの対応に活用する事例がととも増えています。特に今年度は、いじめ重大事態や子供の重大事故等への対応が例年以上に発生し、当事務所配置のスクールカウンセラースーパーバイザー（SCSV）の活用が多く図られました。



現在、子供たちを取り巻く課題が多岐にわたり、保護者のニーズも多様化する中で、対応に苦慮しているといった学校の声をよく耳にします。今後ますます様々な専門家や関係機関との連携が必須となり、「チーム学校」として協働しながら課題解決を図っていくことが求められます。

(3) 特別支援教育の推進を支える学校体制づくり

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた「学びやすさ」の構築

教室環境や視覚的な情報提示のルールを校内で統一する学校が増加し、児童生徒が過ごしやすい状況が整ってきています。今後も引き続き、特別な教育的支援を要する児童生徒の実態把握と、具体的な手立てについての理解を深め、また、専門的な知識（認定講習による特支免許の取得等）を身に付け、児童生徒にとって「分かる・できる」授業づくりと、多様性を認め合える学級経営を目指していけるように、助言を行っていきます。

②校内委員会の機能と関係機関との連携を生かした「切れ目ない支援」の推進・充実

各学校で、特別支援教育コーディネーターの複数体制が進み、役割分担をし、校内支援体制を整えている学校が増えてきています。また、特別支援教育にかかわる校内研修の依頼として、特別支援アドバイザーの派遣要請が年々増えていきます。外部機関を積極的に活用し、各機関と連携しながら児童生徒への支援の充実を図ることを今後も推進し、切れ目ない支援を継続していけるよう、助言を行っていきます。

③個別の教育支援計画及び個別の指導計画の活用による、適切な合理的配慮と個に応じた支援の提供

特別支援学級に在籍している児童生徒や通級による指導を受けている児童生徒だけでなく、通常学級に在籍している特別な教育的支援を要する児童生徒に対しても、両方の計画の作成が進んでいます。今後も、合理的配慮の正しい理解と、児童生徒一人一人に応じた支援について助言を行っていきます。

(4) 地域とともにある学校づくりの推進

①地域との連携の再構築と、「地域連携のススメ」等の活用

「学校教育活動の充実」や「学校運営・働き方の充実」に向けて、学校と地域の両輪で子供たちを支えるための取り組みを行っています。学校の教育目標を地域と共有し、令和3年度に千葉県教育委員会から各学校に配付された「地域連携のススメ」の活用を推進しています。

②「学校から発信する家庭教育支援プログラム」等による家庭の教育力の向上

千葉県ホームページ・教育振興部生涯学習課に掲載されている「学校から発信する家庭教育支援プログラム」等の活用により、家庭の教育力の向上に繋がることを期待しています。



令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果

【指導室 学力向上班】

令和6年4月18日(木)に、小学校第6学年、中学校第3学年を対象に令和6年度「全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度、児童生徒質問調査は、1人1台端末を使用しての調査となりました。葛南教育事務所管内(船橋市・市川市・習志野市・八千代市・浦安市)の結果と改善策は以下のとおりです。

【葛南教育事務所管内の結果】

葛南教育事務所管内の調査結果は、小・中学校ともに2教科とも全国、県の平均を上回る結果となりました。しかしながら、児童生徒質問調査における「授業の内容はわかりますか」という質問に「あてはまる」と回答した割合が、小学校・中学校ともに全国値を下回る結果となっています。学習内容がよく分からないと感じている子供が相当数いると考えられます。今後も個別最適な学びを推進し、児童生徒が「わかった」「できた」と感じる授業を行えるように支援をしてまいります。

【小学校国語科】(○成果 ●課題 ⇒改善案)

○叙述を基に、登場人物の心情や相互関係について理解することができている。

●人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題がある。

⇒登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、性格や考え方について考える。

また、想像した人物像や全体像と関わらせながら、様々な表現が読み手に与える効果について話し合う。

【中学校国語科】

○文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができている。

●物語の創作において、目的や意図に応じて集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にして書くことに課題がある。

⇒これまでの体験や読書経験を基にして、登場人物や場面、状況等を設定し、物語の展開(発端ー展開ー山場ー結末)を構成メモに整理して書く。

【小学校算数科】

○日常生活での具体的な場面における速さの意味について理解している。

●問題場面の数量に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察することに課題がある。

⇒問題文の数量の関係を図や式を用いて考え、計算に関して成り立つ性質を活用して計算しているか確かめる。

【中学校数学科】

○連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができる。

●複数のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

⇒複数の箱ひげ図を見比べ、箱ひげ図の特徴や傾向、代表値等を用いてわかりやすく説明できているか生徒同士で確認する。

【児童生徒質問調査より】

「自分には、よいところがあると思いますか」や「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の設問に対して、肯定的な回答が全国値を下回っています。教師が、一人一人の長所や個性を積極的に認めるとともに、相互評価を取り入れ、児童生徒がお互いの良さに気付くことができるよう工夫することにより、自己肯定感や自己有用感を高めていく必要があります。



千葉県教育委員会では、学力向上に関連する情報を発信しています。是非ご活用ください。



<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/bunseki-katuyou/bunseki-katuyou2020.html>

一年間のまとめと新年度の準備をしよう！

【指導室 特別支援教育班】

年度末になりました。各学校におかれましては、今年度の取り組みを振り返り、次年度への申し送り事項のまとめや子供たちの引継ぎに向けて準備をすすめていただいていることと思います。

子供たちや先生方が安心して新学期を迎えられるように、特別支援学級の確認事項を中心にまとめました。通級担当の先生方や、通常級の先生方にも参考になる内容が含まれています。ぜひ参考にして、一年の振り返りと新年度の準備に活用してください。

年度末の確認事項

<input type="checkbox"/>	個別の指導計画（通知表）の評価
<input type="checkbox"/>	個別の教育支援計画の追記・合理的配慮の見直しや評価
<input type="checkbox"/>	保護者面談（上記の計画を基に、一年間の様子を伝えたり、次年度の課題を確認しましょう）
<input type="checkbox"/>	「学級・教室運営計画」の見直し
<input type="checkbox"/>	次年度の学級編成（教務主任や教頭先生と相談して進めましょう）
<input type="checkbox"/>	次年度の交流及び共同学習の計画立案
<input type="checkbox"/>	指導記録のまとめ（学習した内容を、教科書や学習指導要領等にチェックして引継ぐのも良いです）
<input type="checkbox"/>	指導要録の記入
<input type="checkbox"/>	次年度の年間計画の立案



新年度の確認事項

<input type="checkbox"/>	引継ぎ事項の確認と児童生徒に関する情報収集（個別の教育支援計画や個別の指導計画を基に）
<input type="checkbox"/>	個別の教育支援計画の作成・確認（保護者の理解を得て作成や見直しを。合理的配慮の申出の確認も）
<input type="checkbox"/>	個別の指導計画の作成（児童生徒の実態把握をしながら作成を）
<input type="checkbox"/>	教育課程の編成（週時程表、年間計画等）
<input type="checkbox"/>	交流及び共同学習の計画・打ち合わせ（交流計画を作成し、全職員への周知や交流学級担任との打ち合わせを）
<input type="checkbox"/>	「学級・教室運営計画」の作成
<input type="checkbox"/>	指導要録・出席簿・健康診断票等の整備
<input type="checkbox"/>	教科用図書の確認
<input type="checkbox"/>	教室環境整備
<input type="checkbox"/>	学級だよりの作成（交流学級の様子や取り組みが分かるように当該学年の「学年だよりの」の配付も）
<input type="checkbox"/>	校内の協力依頼（職員会議や校内委員会等で、在籍児童生徒の理解や教育活動の理解周知を）
<input type="checkbox"/>	新年度の準備（朝・帰りの会の進行表、日課表の作成、連絡帳の準備等）
<input type="checkbox"/>	参観日・保護者会の計画・準備（学習指導要領を根拠とした説明ができるように。自立活動、各教科等を合わせた指導、特別支援学校学習指導要領の解説等も参照）

特別支援アドバイザーの活用を！

千葉県教育委員会では、特別支援アドバイザーの派遣事業を行っています。

4月限定派遣：新年度、初めて特別支援学級担任や通級による指導の担当、特別支援教育コーディネーターになった先生、特別支援学級や通級による指導を新規開設した学校等を対象に派遣を実施します。**申し込み〆切は4月中旬**を予定しています。今年度中に校内で検討をして、新年度の特別支援教育コーディネーターへの引継ぎをお願いします。

参考資料

- ・「特別支援学級担当者の専門性向上パッケージ」（千葉県総合教育センター）
- ・「ユニバーサルデザインに学ぶどの子も「分かる」「できる」をめざす支援の工夫ヒント集」（千葉県総合教育センター）
- ・「特別支援教育指導資料」（令和7年度版が4月発行。各校1冊配付されます。千葉県教育委員会のHPにも掲載予定です）



令和6年度 葛南地方生涯学習振興大会を終えて

【指導室 社会教育班】

令和6年度の葛南地方生涯学習振興大会を、令和7年2月7日に浦安市中央公民館で実施しました。現在浦安市を拠点にして活動しているシンガーソングライターの洋一郎さんをお迎えして、「私の生涯学習」～音楽と浦安と私～というテーマでお話いただきました。

洋一郎氏は、J:COM「ぐるっとプラス 市川・浦安」番組の司会業や、18年に渡る取材活動を続ける傍ら、浦安市のアートシーン活性化イベント「Uスタイル」のナビゲーター、若い音楽家の方の支援のための「URAYASUピュアクラシックコンサート」MC、2009年からは浦安市文化会館主催「ピュアホワイトクリスマスコンサート」の音楽監督、浦安市青少年館主催「いるか合唱団」の指揮や歌唱指導講師、浦安ミュージックデリバリー第1期登録アーティストとして学校訪問を多数行うなど、幅広く活躍中で、大変興味深いお話を拝聴できました。

【講演内容より】

小さい頃からピアノに興味があり、習い始めた洋一郎さんですが、当時はピアノをやっている男子が少ない時代でした。「すごいね」という肯定的な声の一方で、「どうして男子なのに」というようなからかいの言葉などもあり、続けるかどうか悩まれた時期もあったということです。

そうした中でも多数のオーディションを受け、テレビ局の音楽番組でチャンピオンとなるなど、挑戦を続けられました。

その後、プロとしての音楽活動や舞台役者などを行うようになり、現在は、お住いの浦安に密着した音楽やケーブルテレビを中心に幅広く活躍されています。

「多くの方々に歌を唄って幸せになってほしい」という思いをこめて、音楽を通じて歌の楽しさを伝える活動を続けられています。



講演を聴いた後は、参加した皆さんで交流して講演内容を深め、洋一郎さんに質問するなど、例年行っていた事例発表から参加者の皆様が楽しめるような内容に変更しました。より多くの皆さんが参加し、大いに盛り上がりました。

【参加者の声】

- ・洋一郎さんの歌は、言葉もメロディも優しくて癒されました。
- ・市内での活動が地域に密着して、自分もその中で生きていく様子がとてもすばらしいと思いました。
- ・浦安らしい郷土愛に溢れた大会で良かったと思います。
- ・音楽は心に残る財産。その切り口で市民の為に活動しているのは、すばらしいと感じました。



不祥事を起こさない！

【管理課】

今年度、県内の教職員の懲戒処分の件数が22件（監督責任含む）となりました（2月26日現在）。児童生徒等に対するわいせつ行為、飲酒を伴う交通違反・交通事故等、教育公務員として断じてあってはならない内容で処分されています。管内では、葛南教育事務所管理課による巡回不祥事根絶研修会や、各市教育委員会人事担当課による研修会等を通して、不祥事の未然防止に努めてきました。

また、新しい「不祥事根絶セルフチェック」を年度末にも実施し、不祥事を起こさないという機運を高めているところです。令和7年度は、「各市教育委員会と連携して、不祥事根絶研修会の実施校を増やす」、「不祥事根絶に向けた学校づくりの推進」についてさらに取組を強化したいと考えています。

懲戒処分を受けたものだけが不祥事ではありません。懲戒処分には至らなかったとしても、日頃の教育活動の中で、あるいはそれ以外の時間で、ヒヤリとする事案が数多く発生している現状もあります。児童生徒・保護者に対する配慮に欠けた言動、教職員間の人間関係のトラブル、事務手続きの失念等です。こういった事案を一つ一つ減らしていかない限り、不祥事は根絶できません。すべての教職員が「不祥事を起こさない！」という自覚をもてるように、あきらめることなく取り組んでいきます。

令和7年度新規採用教職員採用事務打ち合わせ会

2月10日（金）から4日間、8回にわたり、新規採用教職員採用事務打ち合わせ会を行いました。

令和7年度の管内における新規採用教職員は、小学校教諭217名、中学校教諭120名、特別支援学校教諭14名、養護教諭15名、事務職員14名、栄養職員2名の計382名です。

会に先立ち、葛南教育事務所長と管理課長、指導室長から採用されたことに対するお祝いの言葉や1年目に期待すること、そして教育公務員としての心構え等の話がありました。



新規採用教職員の不安や悩みを少しでも軽減するため、グループトークや個別面談を行い、同じ市に採用される職員ができるだけ近くで交流できるようにしました。また、個別面談では、管理主事が不安に思っていることを聞き取り、少しでも安心して4月1日を迎えられるように話をしました。新規採用教職員からは笑顔も見られ、子供たちの前に立つことを楽しみにしている様子が窺えました。

新規採用教職員の皆様が新天地で活躍されることを心から願っています。

